

令和6年度 福岡市立ひとり親家庭支援センター指定管理者選定・評価委員会 議事録

●日時

令和7年3月19日(水) 10:00～11:30

●場所

福岡市立ひとり親家庭支援センター3階 技能習得室

●参加者

委員：藤田委員長、池田委員、岩崎委員、佐竹委員、藤田委員

事務局：こども未来局こども健やか部こども家庭課長 他2名

1 開会

(モニタリング制度について説明)

2 総合評価について (主な質疑)

●「1. 履行状況の確認」

委員：日常生活支援事業について、利用方法の仕組みについて教えてほしい。

事務局：利用希望者は、事前に利用登録をしていただく必要がある。

そのうえで、利用希望がある場合に、ひとり親家庭支援センターで利用調整を行って生活支援員を派遣する仕組みとなっている。

直近で利用希望があった場合には、派遣する生活支援員との調整がつかず、利用できない場合がある。

委員：就職相談数を含めた利用者が減っているように思うが要因は。

事務局：福岡市におけるひとり親の世帯数が減少してきていることや、ホームページやSNSを利用した情報発信強化に取り組んでいることも来館者等の減少の要因のひとつではないかと推察する。

委員：履行状況の確認において、利用者の記載はあるが、利用者数等について目標値などは設定しているのか。市はどのように評価したのか。

無料職業紹介では実績が少ないようだが改善は求めないのか。

事務局：指定管理者の募集時においても、相談事業などの事業実施を適切に行っていただくことが大事であり、数値目標は掲げていない。無料職業紹介事業においても実績は少ないが、企業からの求人や利用者の求職の希望の受付は適切に実施されている。また、利用者アンケートによる満足度などから評価した。

委員長 : 無料職業紹介事業が過去3年の実績が少ないが、今後もこの事業をやっていくのか。

事務局 : 無料職業紹介事業や就業支援講習会の実施によって、ひとり親家庭の就職・自立支援につながるものと考えており、引き続き実施していく。

●「2. 指定管理者の創意工夫」

委員 : 子育て広場などの事業について、参加者が少ないと感じるが参加者増加のための工夫はあるか。

事務局 : 市政だよりへの情報掲載やホームページでの案内。また予約枠が空いている場合はSNSを利用した参加の呼びかけを行っている。また、事業内容についてもアンケートなどの内容を踏まえ、開催内容等の工夫は行っている。

委員 : 評価について、利用実績が少ない中でどのように行ったのか。

事務局 : 利用者数などの基準を設けていないため、利用者数だけでの判断しているものではなく、事業を適切に実施することで、機会の提供が行われていること等によって判断した。

委員長 : 評価について、合理的な考え方が数値等で判断できない。今後、工夫が必要でないか。

事務局 : 評価基準については、これまでの評価の考え方を踏まえて行っているが、必要に応じ、基準を決めるなどの工夫は必要と考えており、今後検討する。

●「3 市民(利用者)のサービス向上」

委員 : 施設の修繕等は指定管理者の裁量で行っているのか。

事務局 : 軽微なものは指定管理者の判断により修繕を実施しているが、一定の基準を超えるものは市に相談し実施している。

委員 : ひとり親家庭支援センターを利用しているのは、新規が多いのかリピーターが多いのか。

事務局 : 電話のみの利用者もいることから利用者の特性の判断はできないが、各種相談や手続きにおいては、事前相談から実際の手続きまで含めて複数回の利用がある。

委員 : 新規の利用者が増えると良いと思う。何か工夫はあるか。

事務局 : 養育費セミナーなどの事業は、離婚前の方が参加されることが多いように思う。

●「4 事業の効果」

委員 : 就業率がそこまで高くないが何故アンケートの満足度が高くなっているのか。

事務局 : 就業支援講習会では、知識や技術の習得にかかる講習会のアンケートである。実際に就職できたかどうかということはアンケートの項目にはなっていない。

委 員 : 生活相談の内容ってどのようなものになるか。

事務局 : 子育てに関することや金銭に関することなど、さまざまである。

委員長 : アンケートの実施において、低い評価のご意見はあるのか。

事務局 : 市内では中央区大手門にしかないことで遠方者が利用しづらいといった点や、施設に駐車場がないことなどのご意見はあった。

●「全体評価」

委 員 : 評価するにあたっては、数値目標があった方がわかりやすかった。

委員長 : その他、意見がないようであれば、総合評価について、市の案どおりとする。

3 事務連絡

4 閉会
